

リリーフ輪姦女



主従関係
わかれせ陵辱

私の名前はリーフ：
ポケモントレーナーです

自慢じゃありませんが
トレーナーとしてはかなり強い方だと思います



その日…

私は風の噂で聞いた
「負けの森」という所に来ていました

何でも、

誰も勝てない野生ポケモンがいるんだとか…

一体どんなに強い野生ポケモンがいるのか…
楽しみではあれど、怖くはありませんでした

リーグを制覇し、今やチャンピオンになった私に
勝てる者なんて誰もいない！
そう思っていたからです…

それが最大の過ちだと気付かずに…



野生のワンリキー！
4匹も…!?



かさ
かさ
!!

ふん

びびり!!



私が負けるなんて
ありえないわ!!

負けの森って言うから
何が出てくるかと思えば：
ザコばかりじゃない!



突然囲まれ
驚きましたが、
私には
自信がありました

焦っちゃダメ：
落ち着くのもリーフ!



ワンリキーは
直接的な技だけで
厄介な技は持ってないはず

たとえ
多少レベルが高くたって
進化する前のポケモンだもの
楽勝ねっ!



結論から言えば私は……

自分のポケモンを鞆から取り出すよりも早く
一瞬で体の自由を奪われてしまったのです……

後に
詳しく聞いた話だと
この二帯は
オスのワンリキーの
遊び場で……

足を踏み入れたメスは
ポケモンだらうと人間だらうと襲われ……
彼らが飽きるまで強姦される
危険な狩場だったので……

私は手持ちポケモンさえいれば怖いものは無いと
たかを括っていました……森を舐めていたんです……

ポケモンを出せなければ……私はただの非力な女子供でしかないのに……



かくとうタイプの圧倒的な腕力…
振り解こうとしてもビクともしません

それでも諦めず全身で暴れ抵抗する
私の顔の前に…

ワンリキーの…おちんちんが差し出されました

ずしゅ

む
め
あ
あ

鼻の奥を刺激するオスの臭い…
ギョツとするのも束の間…私は身体の異変を感じました
全身が汗ばみ胸がキュンキュンし…下半身が熱くなる

たぶん…あれは「メロメロ」の技

「これ以上嗅いだらヤバイ…!」

そう思い息を止めた次の瞬間

私は一瞬で笑い出し、
また目の前のオチンチンの臭いを
吸い込んでしまいました…
何度も何度も…

体は発情を止められず
痛いくらいに勃起した乳首は
しゃぶりつかれて
いつの間にかパンツは脱がされ…

上から抱きついて来た
ワンリキーが
私の…アソコに…指を入れて…
ぐばっと開きました…

普通なら痛いはずの
開き方…
でも…

ぐずぐずにトロけてたアソコは…
むしろ自分から開いた感じで
粘っこい糸を引いて恥ずかしい汁を垂れ流し…
まるで期待してたみたい…

いえ…正直…期待していません…ドキドキしてなんです
この逞しいモノが入れられたら…どんなに気持ちイイだろうって…
さっきまで嫌悪感で一杯だった苦なのに…

そして…腋をくすぐってている背後のワンリキーが
バキバキに勃起した…かくとうタイプの筋肉質なオチンチンを
私のアソコに当てがい……一気に腰を打ちつけ

私は絶頂しました
来ると思う間もなく頭が真っ白になって…
奥まで一気に挿入されたのだと思い至りまた一瞬で絶頂…

パン！パン！パン！と力強く腰を打ちつける音が
真っ白な頭の中にかすかに聞こえました…

上にしがみつくとワンリキーは
クリトリスをしゃぶり、唇の中では
舌でチロチロと先っちょ舐めくすぐり
それだけでまた絶頂…

どうして彼らは
私の泣き所が分かるのでしょうか
弱点を的確に突き、えぐり、ほじってくるオスに
私は良いようにイカされるがままでした

あーん
メッ
オオ
オー

びゅん

びゅん

あーん
メッ
オオ
オー

あーん
メッ
オオ
オー

腕はがっしり捕らえられ、
どうにか顔をオチンチンから逸らそうとしても
くすぐりと絶え間ない快樂地獄で
私の体は仰け反り絶頂を続けるしかありませんでした

腰は
とつくに抜けてたけど
崩れ落ちることを
下から突いてくる
オチンチンが許しません

私は恥ずかしい言葉を叫びながら
狂ったように絶頂を繰り返しました……

オホ
ほっ
ほっ

おまんこ
おまんこ
おまんこ

おまんこ
おまんこ
おまんこ

とちゅ、とちゅ、とちゅ、とちゅ、とちゅん

「このままじゃヤバイ!」

「イキ狂わされて
本当に頭がおかしくなっちゃう!
戻れなくなっちゃう!」

絶頂の合間の一瞬、
恥ずかしい台詞を叫んだ
羞恥心と危機感が
理性を取り戻させてくれました

「反撃…
何か反撃をしないと…!!
今反撃しないと…今…ッ!」

「!!」

「急所…」

「そうだ性器は
急所な筈…!」

「どうにか攻撃を…」

「身体はダメでも
口だけなら動かせる!
噛んで反撃するのよ!
そうすれば隙が出来る!
噛みちぎってやる!
思いつ切り噛みちぎってや

ぐぐぐ…



クニ



Zzz...

glooo

.....

.....

..... S



Handwritten red sound effects and decorative elements on the left side of the image, including the character 'H' and various symbols like hearts and arrows.

Handwritten red sound effects and decorative elements in a cloud-like shape at the top right, featuring the character 'え' and hearts.

Handwritten white sound effects on the character's face: 'ちゅ', 'すん', 'すん', and 'すん'.

Handwritten red sound effects and decorative elements in a cloud-like shape at the bottom right, featuring the character 'H' and hearts.

考えてみれば当たり前前のことでした……

メロメロの臭いはオチンチンから出ていたんだから……
そんなものに直接……回が触れたらどうなってしまうか……

メロメロ原液のチンポ汁を舐めてしまえばもう戻れません

お……い……い……♡

えへへ♡
クサ……い……♡

チ……ン……ポ……♡
く……さ……♡

す……き……♡

す……き……♡

べ……ろ……♡

べ……ろ……♡
べ……ろ……♡

く……さ……♡
チ……ン……ポ……♡
す……き……♡

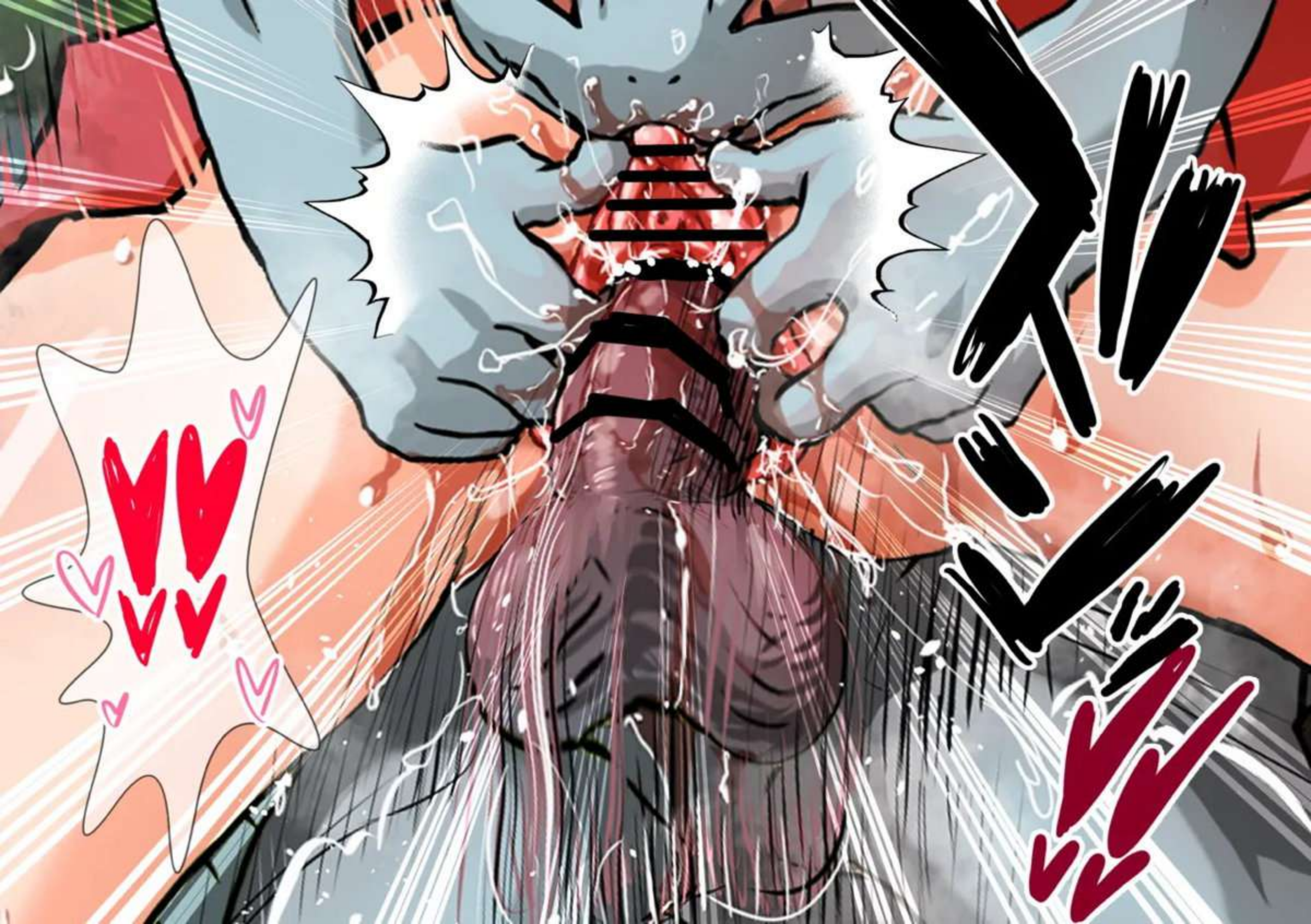
オ……ス……チ……ン……ポ……♡
チ……ン……ポ……♡

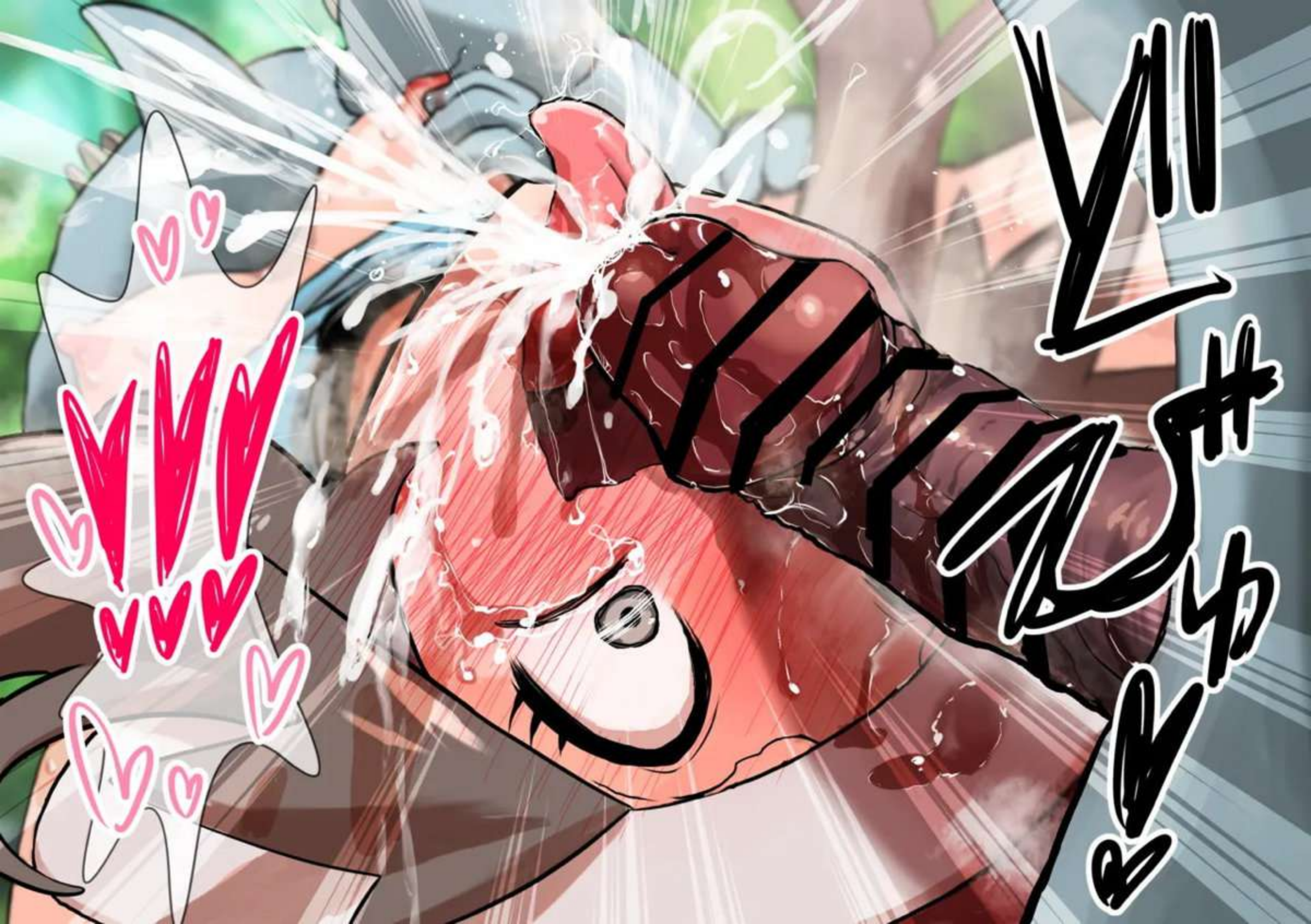
えへへ♡
い……ろ……♡
い……ろ……♡

い……ろ……♡
い……ろ……♡
い……ろ……♡

チ……ン……ポ……♡
チ……ン……ポ……♡

おいしくて愛しくてたまらず
私はチンポを舐め続けました……
心の奥ではダメだと分かっているのに……







心臓が溶ける

♡♡♡♡♡

おんおんおん



精液が…ワンリキーのチンポ汁が…
メロメロ液の濃縮原液が…
子宮口を直撃し口内に注がれた瞬間…

脊髄を電流のような快楽が貫いて…
私はこれまでよりも更に深い…圧倒的な
快感で絶頂に達しました

アタマが真っつつ…白になり…
押し寄せる多幸福感…恍惚の中…

私は
ポケモントレーナー
なんかではなく…

チンポを…オチンポ様を
気持ち良くするための
ハメ穴に過ぎないんだと…
種付けされる為に生まれた
メスなんだという事を…

身体の最奥から理解わからされました…
生物として圧倒的な「負け」…
人間とポケモンである前に…
どうしようもない「メス」であることを…

言い逃れようがありません…
だって私の上の口も…下の口も…考えなくても動いていたんです…
オチンポ様を出す…お恵みくださる…
エッチで強いオス汁を…一滴も逃すまいと動いていたの…
舌は亀頭を舐めまわし…精液を喉に送り…
膣壁は精液を搾り取る為に収縮して…
子宮はゴクゴクと音を立て飲み込んでいたんですから…

この後は……

さらに交代で犯されたんだと思います……あまり覚えていません
何度も射精されては絶頂し……
回からもオマンコからも精液を注がれ潮を吹かされ……

数え
切れないくらい
膣内射精され

マンコで絶頂

子宮で絶頂

クリで絶頂

腋で絶頂

乳首で絶頂

触られただけで絶頂

チンポの臭いを嗅いだけで絶頂……



一晩中犯され……犯され尽くした後……

ワンリキー達が飽きたのか

私は解放されました……

というより

森の出口に捨て置かれたんですけど……

去り際にワンリキーが

含みありげな笑みで私を一瞥したのを

覚えています……

ニヤリと笑い、何かを確信したような目……

その意味はわかりませんでしたけど、

私は放心しながらも

安堵していました

巢に持ち帰られて……一生ワンリキーの

性欲を発散するための性奴隷にされるだろうと

思っていたから……

身体は疲弊し切って……感覚もおかしくて……

どうやって帰ろうかと考えても

上手く考えられず……思考がバラバラな中……

……私のこれからの人生を……

性欲まみれの野生ポケモンなんか決定されなくて

良かったと……

安堵していました……

気がつくとも森を出て
街にいました…

ポケモンセンターの宿で
シャワーを浴び…
ドロドロに眠り…
とにかく回復して…
今回の事は忘れようと思いましたが…

でも…いくら考えないようにしても
ダメなんです

買い物をしてでもバトルをしても
心は晴れません
あの時の光景…
ザコポケモンのくせに
私を見下す目…

日に日に悔しさと怒りが募り
私はこれじゃダメだと思いました

「目を背けちゃダメ
ポケモンリーグ殿堂入りして
チャンピオンにまでなった私が
野生のワンリキーなんか
バトルも出来ずに負けたまま
でいるなんて…
そんなの絶対許せない…！」

私はリベンジを誓いました

まず作戦を
考えよう…

あいつらに接近
するのは
良くないわ

遠距離から
手持ちポケモン全員で
一気に技を出して
殲滅するのが一番ね

私のポケモンは
みんな高レベル…

レベルの低い
ワンリキーの群れなんて
楽勝なんだから…

でも…
あいつら
頭は良さそうだったわね



攻撃に気付かれると
森に隠れて出てこないかな…

あの森は広いし…

となると…
まずは接近して
おびき寄せる必要があるわね

まずは
手持ちを外に出さずに
…

私一人で無防備に
あいつらに
身を晒し…



ワンリキー達を
誘い出して…

誘い出して.....



でも…もしも…
もしも…また…

手持ちを出す前に
私が捕まっちゃったら…っ



よ…寄ってたかって
女の子を
カづくで抑え込んで…っ

は…っ……
放しなさいよっ…
卑怯者っ…

オスの力で
無理矢理っ…
組み敷かれてっ…



や...やめてっ...

いやっ...
いやっ...
♡

ががが
ががが

ぽん♡
ぽん♡
ぽん♡



あっあっ♡
クリっ♡クリトリス
しゃぶらないでっ♡

唇で
クリの皮剥くのダメ
それっ...♡



勃起クリトリス
吸いながら舌でくすぐらないでっ♡
クリ吸いながら♡
先っちょを舌でっ♡チロチロっ♡
それ腰抜けるっ...♡

なんでっ♡
何で弱いところ分かるのっ♡
あたしのダメな所っ♡
おまんこホジられながら♡
クリ舐めなんてっ♡
ズルすぎるっ♡エッチすぎるっ♡

ほい♡
ほい♡
ほい♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡

ずるいっ...

ずるらっ.....

オスはずるいっ...

どく... どく...

ふ...
...
...

...
...
...

...
...
...

ビクッ!



力が強くてっ...

ビクッ!

♡
♡
♡
♡

ほじ
ほじ♡
ほじ♡

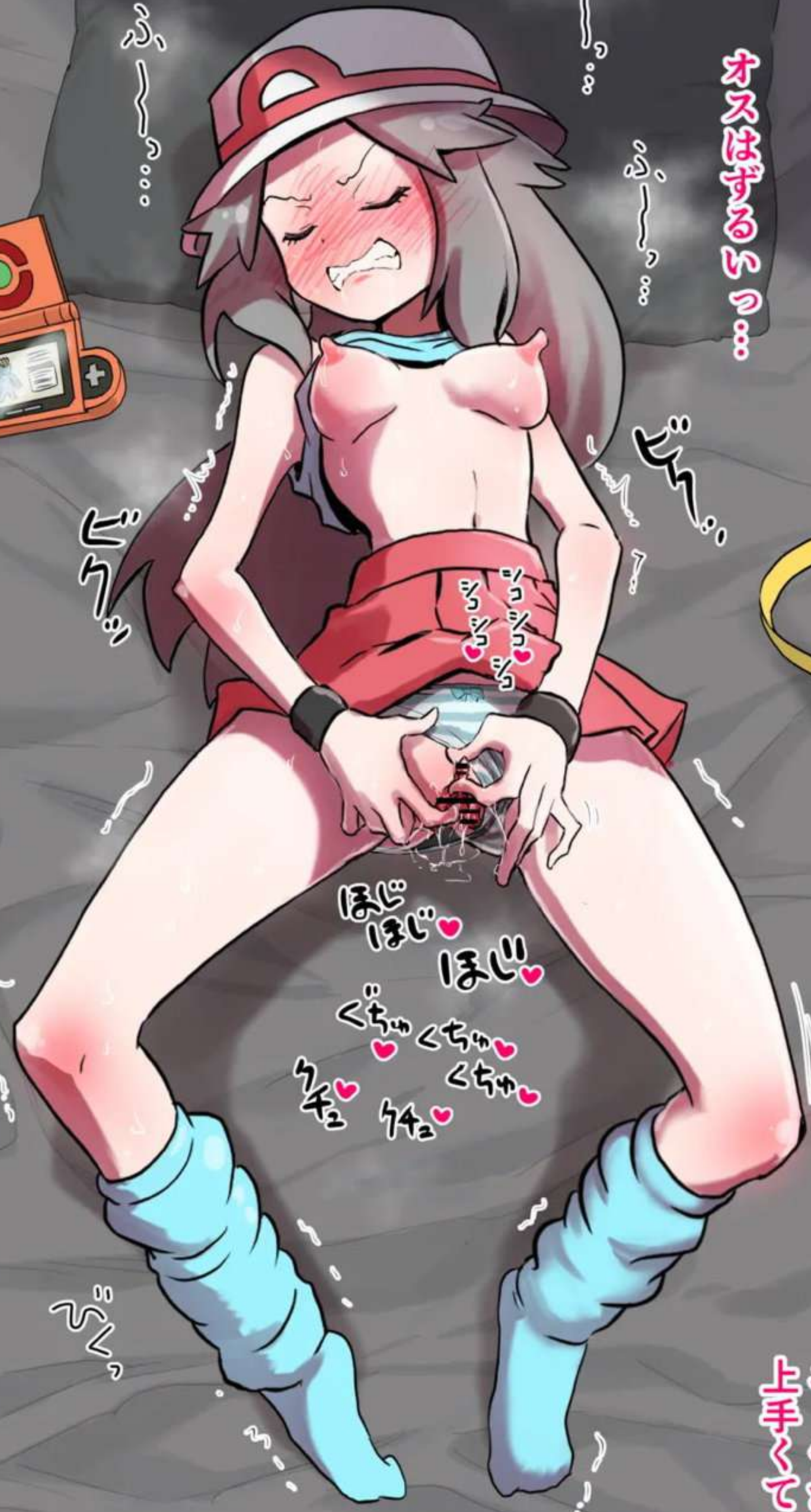
♡
♡
♡
♡
♡
♡

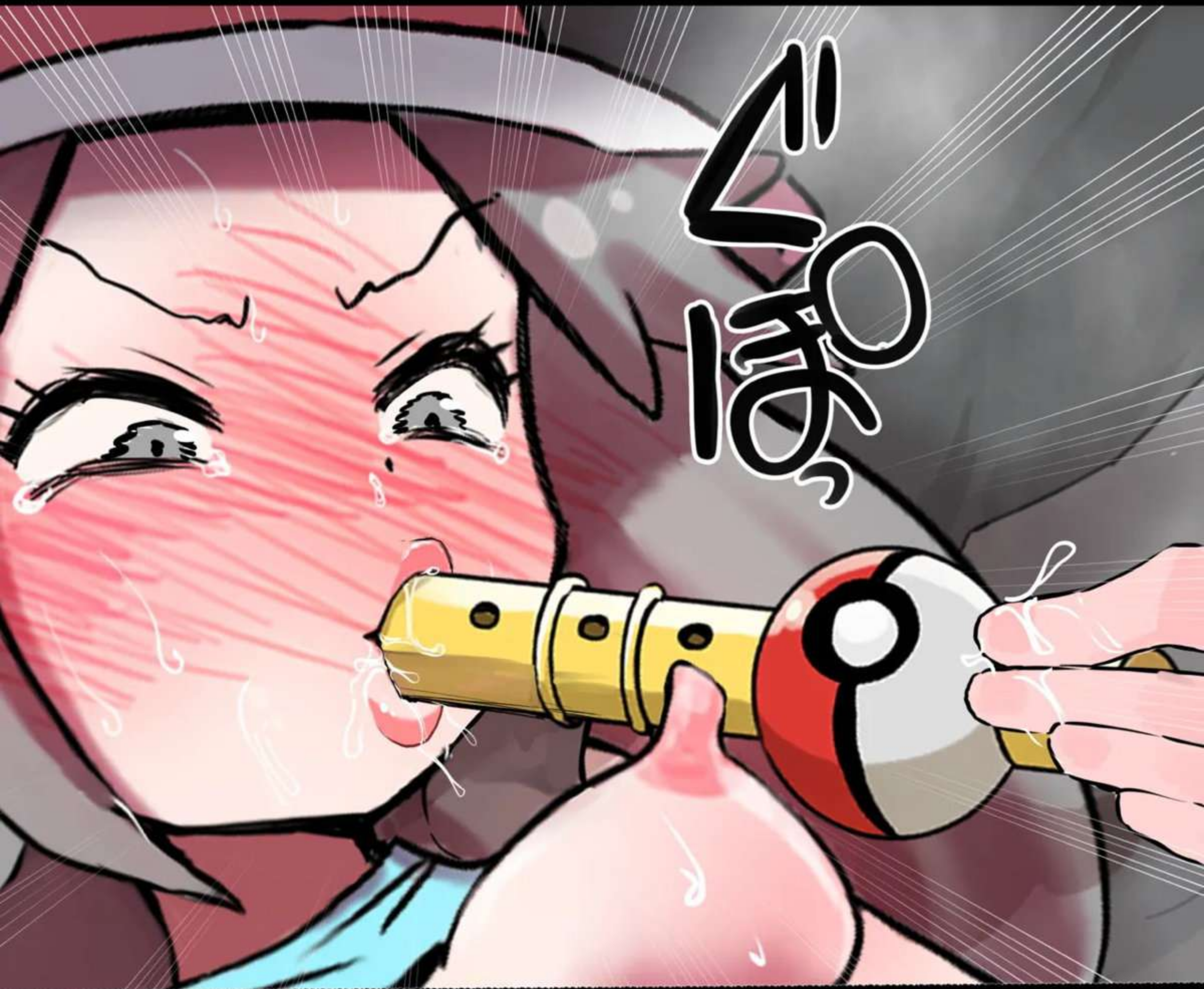
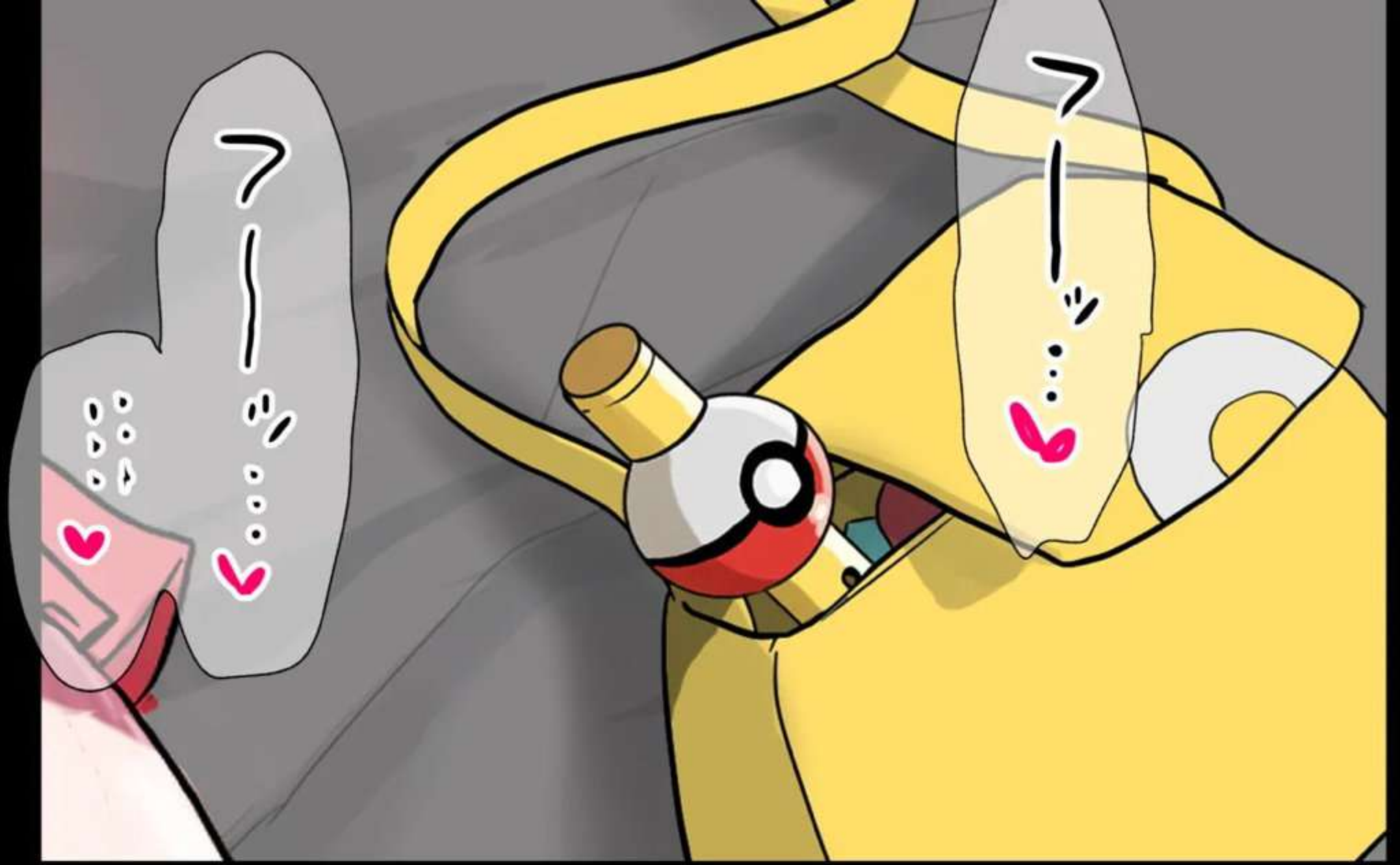
♡
♡
♡
♡

どく...

どく...

エッチが
上手くてっ...





ちんぽっ！♡

チンポっ！♡

ぐほ、ぢゅほ、
ぢゅほ、ぢゅほ、
ぢゅほ、ぢゅほ、
ぢゅほ、ぢゅほ、

くほ、くほ、
くほ、くほ、

ぐん

ぢゅほ、ぢゅほ、
ぢゅほ、ぢゅほ、

ほじほじ♡
ほじほじ♡
くちゅくちゅ♡
くちゅくちゅ♡
ぐちゅ♡
ぐちゅ♡

ぐん

ぐん

オスの
おちんぽおおおっ！！♡♡





やっやめてっ
ちんぽ啜えさせないでっ！
ちんぽっ！♡臭ちんぽ
舐めさせるなんてっ♡
何考えてんのよっ！！♡

ヌルヌル我慢汁
舐めさせないでっ！！♡
それメロメロ汁っ♡
そんなの舐めさせられたら
発情しちゃうの当たり前でしょっ！！♡

びんびん
ぽぽ
ちゅぽ



あたしは悪くないっ！悪くないのっ！
全部オチンポが悪いのよっ！！♡
あたしはこんな事したくないのにつ
気持ち良くなんかなりたくないのにつ！

メロメロ汁のせいで
クリ勃起してトンがっつて！♡
オマンコぐちよぐちよなんだから！♡
あたしのせいじゃないっ！
全部っ全部っ！！♡

ぐちぐち
ちゅ
ちゅ

全部チンポが
強いから悪いのよおっ...!!

オ
ミ



あ

あ
あ
あ

ズ
ズ
ズ
ズ

あ
あ
あ



だ……ダメっ!!

ばっ!!

は……

は……



は……

襲われる妄想して……っ
お、思い出しオナニー
なんて……
私……最低……っ!!



こ……
こんな事……っ!
もうやめなきゃっ……!!

は……

対策よ……
対策を考えるのっ!
今度こそ
負けないんだから!



今度こそっ...

♡♡♡♡♡

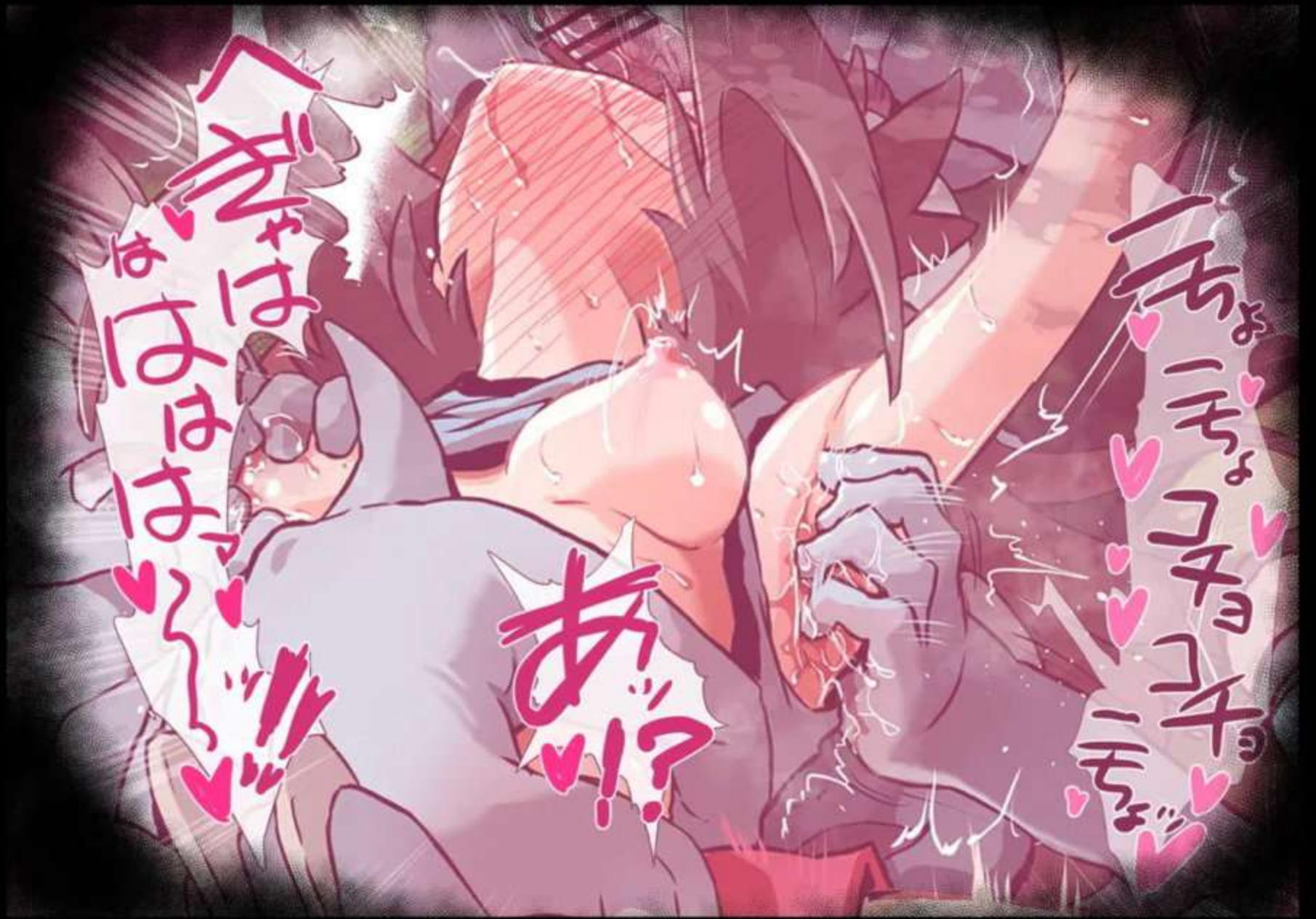
♡♡♡♡♡



♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

お

腋ヨチヨチヨチヨつ♡





くっくっくっ

くっくっくっ
くっくっくっ

くっくっくっ

くっくっくっ
くっくっくっ

くっくっくっ
くっくっくっ



くっくっくっ

くっくっくっ
くっくっくっ

くっくっくっ
くっくっくっ

くっくっくっ

くっくっくっ

くっくっくっ
くっくっくっ



おおお

っ

が

ビキ
ビキ
ビキ

中ボルトから出てくる

ニクもスーパード

ちんちんは



オオオオオ

精液

サ

オオオオオ
オオオオオ

ククククク

オオオオオ



次は負けないように
対策を立ててる…？

私は何を考えていたんでしよう…

私はワンリキーのチンポを嗅いだ時から
完全に負けていたのだ…

次なんて
あるはずなかったんです

あの時…
ワンリキーが私を笑った目で見た理由が分かりました…

身体の奥…メスの子宮の芯から…わからされた主従関係は
理性なんかでは覆しようがない…

私の主人はチンポになったのだと…あのワンリキーは確信していたのでしよう…



ワンリキーの事を思い出す度に所構わず疼いて
下着が使えなくなるくらいグチヨグチヨになる
だらしのないオマンコ…

一日中発情して

思い出しオナニーを止められないから…

外出もできず…

外出できないから

オナニーが止まらない…



人格を

オチンポに支配された…

完全なオナ猿変態女になってしまった私は
もう元には戻れないでしょう…

だから
この手記を読んだ人は
せめて森に近づかないよう
注意を払ってください…

それと…
私の手持ちポケモン達を
よろしくお願いします…

皆強い子ですから…

私の代わりに大切にしてください…



あふらなる昔あふ

私のことは探さなからせぬ

きつと幸せな生であらまはすから……

○月◇日 リーフ

△△タウン
ポケモンセンターに
残された手記





!!!

また出たわね…
エツチなワンリキー達…!!



リベンジ
しに来たわっ！



あの時は
よくもあんな酷い事を
してくれたわねっ！

バツ

さあ……
バトルよ……！



今度は
絶対に……っ

負けないん
だからっ！



END...